

【総務常任委員会所管分】

課題: 公共施設等総合管理計画について

1. 課題の内容

本庁舎以外の公共施設等についても老朽化が顕著であり、維持するためには、建て替えや保守修繕が必要です。町では公共施設等総合管理計画により適正な規模や配置を検討することとしていますが、厳しい財政状況への対応等の課題があります。

2. 課題に対する提言

今後の施設の更新・管理については、

- ① 保守修繕をしながら耐用年数を考慮し継続使用する施設
- ② 新庁舎建設に伴い併設する施設
- ③ 売却する施設
- ④ 取り壊し施設 など

別紙のとおり施設ごとに分類し、今後のあり方について取りまとめましたので提言します。

学校教育施設（小学校・中学校）は、教育委員会の学校規模適正化検討委員会で検討するので、提言からは除外しました。

【教育福祉常任委員会所管分】

課題：教育環境のあり方に関すること

1. 課題の内容

- ・「小中学校の適正配置」

少子化が進む中で、特に市街化調整区域にある小中学校の生徒数の減少が顕著になっています。標準校と小規模校の双方にメリットとデメリットが存在しています。
- ・「コミュニティスクール（みんなの学校）の現状」

各学校に設置された学校運営協議会および学校支援地域本部が、十分な機能を果たしているか疑問です。
- ・「登下校時の安全対策」

町で取り組んでいる「通学路交通安全プログラム」を踏まえながら、子どもたちの通学路における安全対策の現状と課題の確認が必要です。

2. 課題に対する提言

- ・「小中学校の適正配置」

現在、「学校規模適正化検討委員会」が設置されて議論されていること、及び「学校規模適正化に関する公聴会」が開催されていることを踏まえ、より一層かつ慎重な調査・議論を行うことが必要と判断されます。
- ・「コミュニティスクールの現状」

教員のコミュニティスクールに対する認知度が低い状況です。
教員の地域人材の活用に関する研修及び各学校の教員間での分科会等を形成し、地域人材活用の課題や活用の仕方などを協議する場を設けることを求めます。
- ・「登下校時の安全対策」

事故の人為的な要因として、登下校時の児童生徒のマナーは深く関係するところもあります。
児童生徒に登下校時のヒヤリ・ハットなどを書かせ、自分自身の反省を促し、危険という認識をさせることや、学校全体でヒヤリ・ハットを共有し、子どもたちの自主性のもと登下校時のマナーアップにつなげることも有効と思われます。

【建設産業常任委員会所管分】

課題：農業振興対策について

1. 課題の内容

・「スマート農業」

最近、スマート農業についての多くの情報が提供されていますが、自動運転のトラクター、田植え機等を始め、水田の水位計、ドローン等の利用は、労力の軽減になっていくと考えられます。

課題としては、農家が経済負担に耐えられるかどうかであり、町としてスマート農業に対しての取り組みを強化し、農家の負担軽減のために補助事業の制度設計が望まれます。

・「土地改良事業」

土地改良事業については、スマート農業と関連する事業であるため、強力な推進が必要であります。

課題としては、土地関係者との話し合いに1年～3年を要し、まず出発点の所有者の同意が最大の壁であると考えられます。

2. 課題に対する提言

スマート農業を進めるためには、土地改良事業による大区画化、集積化を同時に進めることが有効と思われれます。そのため、早期に土地改良事業が実施できるよう、積極的に取り組むことを提言します。